

事業種類		治山・砂防			事業名		砂防(通常砂防)					
市町村名		高山村	ふりがな 箇所名	ひがし 東とや みやむら 宮村			事業年度 (完了年度は見込み)		H26	年度～	H30	年度
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)					
							国庫	その他	県債	一般財源		
	全体	砂防堰堤工 2基 (1号堰堤H=7m,L=50m 2号堰堤H=12m,L=84m)			300,000		150,000		135,000	15,000		
要	H26年度	測量・設計・調査 1式			20,000		10,000		9,000	1,000		
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評 価 区 分			①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)		
	必要性	保全対象人家			■ 10戸以上	□ 1～9戸	□ 0戸	35				
		保全対象公共施設			■ 2箇所以上	□ 1箇所	□ なし	25				
		保全対象に要援護者施設があるか			□ 重要施設有り	□ 一般施設有り	■ なし	0				
		保全対象に避難所,避難経路があるか			■ あり	□ なし		5				
		小 計						65				0.3
	重要性	過去の災害履歴			□ 過去20年に1回以上	□ 災害履歴地	■ なし	0				
		交通遮断による地域経済などへの影響			■ 大	□ 中	□ 小	35				
		防災計画上の位置づけ			■ あり	□ なし	□	30				
		小 計						65				0.15
	効率性	費用対効果(B／C)			■ B/C1.5以上	□ B/C1.0以上1.5未満	□ B/C1.0未満	65				
		早期発現度			□ 5年未満	■ 5年以上10年未満	□ 10年以上	20				
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)			□ 検討あり	■ 検討なし		0				
		小 計						85				0.15
	緊急性	地質・地形の状況			□ 地質が脆弱かつ地すべり地形	■ 地質が脆弱	□ その他	20				
		植生の状況			□ 無林地や倒木が多い	■ 放置林	□ その他	10				
		平均溪床勾配			■ 10度以上	□ 2度以上10度未満	□ 2度未満	30				
		土砂整備率			■ 0%	□ 0%より大50%未満	□ 50%以上	30				
		小 計						90				0.25
	計画 熟度	地域からの要望			■ 強い要望がある	□ それほど高くない	□ 特に要望ない	45				
		地元の協力			□ 協力が得られる	■ 概ね協力が得られる	□ 現時点で得られていない	35				
		小 計						80				0.15
	費用対効果(B／C)		14.42		評 価 の 合 計					74		
	事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景		流域は荒廃しており、豪雨の際は巨れき混じりの土砂が流出する可能性がある。流域には人家53戸、公会堂、県道等が存在しており、重大な災害につながる恐れが高いため、当該溪流を緊急に保全する必要がある。								
		地域からの要望経緯		H24年役場から強い要望あり。								
事業説明等の経緯		事業実施が確定次第、地元説明会を開催予定。										
環境・景観への配慮項目		工事に伴う地形改変を極力少なくするよう計画。										
他事業・プロジェクトとの関連		該当なし。										
特記事項		H19年 土砂災害防止法指定。										
地域の合意形成		□ 全員賛成	■ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明							
部意見		当流域には、不安定な溪床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には人家が多く立地しており、速やかな土砂災害対策が必要である。				行政改革課 意見		流域内は荒廃が進んでおり、下方には人家が多いことから、緊急性が認められる。				